

平成27年度 学校評議員会 議事録(要約)

1. 開催日時・場所

第1回	平成27年6月11日	15:00~16:30	水沢高等学校	会議室
第2回	平成28年2月10日	15:15~16:45	水沢高等学校	応接室

2 学校評議員に意見を求めた事項

ア 本校生徒の校内外での様子

(校内での来訪者に対する礼節、対外試合・登下校時・休日等の生活態度)

イ 伝統校としての活気ある活動と、進学実績の維持・向上の両立について

ウ SSHの発展的継続と次期申請に向けた対策

エ 家庭での教育力(スマートフォンの利用規制、朝夕の送迎に関する混雑等)

オ 学校評価(自己評価)結果について

3 学校評議員の意見

学校評価・授業・進学実績等について

- ・過去と比較すると学力差が拡大しているように思える。
- ・遅進者を意識しすぎて、授業レベルを低下させることには反対である。
- ・教職員の努力には深く感謝する。進学実績向上のための授業レベルを維持して欲しい。

SSHについて

- ・地元の企業との連携を深めて、地元定着のきっかけにしていきたい。
- ・出前授業のシステムは高く評価できる。実施回数を増加させて欲しい。
- ・年々通過校数が減少していると聞いている。良い意味での他校との差別化が必要である

生徒の日常生活等について

- ・車の送迎による渋滞は、近隣住民にとっても迷惑となっている。対策が必要と思われる。
- ・生徒の挨拶はここ数年で格段に良くなっている。
- ・保護者送迎に関しては「生徒自らが考えるべき問題」である。一方的な指導ではなく、生徒同士が討論する場を設定する必要がある。
- ・震災から5年が経過し、ボランティア活動の場も減少している。学校自らがボランティアの場を設定し、生徒に参加する機会を与えてほしい。
- ・胆江地区全体の児童生徒数が減少傾向にある。本校も生徒数確保のために、もっと積極的に活動するべきである。
- ・スマートフォンの規制については親子が揃って参加する行事を増加させ、その場で指導しなければ成果は得られない。

4 学校運営に反映した事項

(1) 反映した事項

- 3 - 入学時の生徒の学力差はここ数年でほとんど変化していない。中学校段階で「学習に取り組む習慣が確立されているかどうか」が大きな問題となっている。入学

時に基本的な学習方法についての指導を行っている。進学実績向上のために引き続き授業レベルは高めに設定している。遅進者に対しての補習・基礎力定着用の課題などを、次年度は更に推し進めて行きたい。

- 3 - 次年度は最終年度であり、まとめと次期申請に向けた準備を同時進行で実施しなければならない。理数科に特化した内容ではなく、普通科理系および普通科文系も対象とした幅広い内容を申請しなければ通過は難しいと考えている。地元企業との連携・出前授業等は次年度も継続して実施する予定である。

- 3 - 保護者には送迎の自粛を呼びかけているが、朝夕の公共交通機関の便数が少なく、効果は上がっていない。生徒同士で討論させるという案は実に素晴らしいと思う。ディベートの討論材料として取り組んで行きたい。生徒数の減少は胆江地区全体の問題であり、本校が単独で取り組むのは困難である。地区の高校全体で対応策を模索していきたい。スマートフォンの利用率には個人差がある。意識の高い生徒は自己管理できている。学年 PTA 等で保護者に協力を訴えており、出席した保護者の反応は良い。次年度も保護者に足を向けてもらえるような魅力ある企画を準備して出席率の向上を図りたい。